



伊豆の国市立韮山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

# 韮中だより

住所:伊豆の国市韮山393

電話番号: 055-949-1061

令和2年1月14日発行

第44号



## 防災意識を高めて地域貢献できるように～防災講話から～



写真は佐藤さんによる講話の場面と名取生徒会長によるお礼の言葉を伝えている場面です。



1/8(水)、伊豆の国市役所危機管理課の佐藤政志課長を招聘し、「台風19号から学ぶ～命を守る授業～」という演題で、講話をしていただきました。当日の避難状況の様子や次の日から被害に遭われた住民への対応など、写真や数字を見せながら具体的に教えてくださいました。伊豆の国市は死者や行方不明者が0であったこと、床上浸水被害が約300件で約80件は半壊であったこと、約1300人が台風被害者のために関わってくれたことなど、私たちには知らないところで、多くの方々が被害に遭われていて、たくさんの方々がボランティア等で動いていることに子供たちは驚いていました。そして、佐藤課長さんの「自助・共助・公助の精神をこうした実際の災害時に実行できるかがとても大事になってきます。命をつなぐ行動は誰にでもできるんです」という言葉が子供たち一人一人の心に伝わってきました。学校では、子供たちに「自然災害時の働き手となる中学生としての意識と実行力」を培っていきたいと思います。地域の皆様には、ご苦労をおかけする点多々ありますが、様々な場面で中学生に声をかけていただき、地域の一員として、一翼

を担っていけるように育てていただければ有り難いです。今後ともよろしくお願ひします。この防災講話の後に、子供たちは自分を見つめ直す意味で学んだことや感想をまとめました。一部を紹介します。

- 台風19号が来るといふ恐怖を感じていたあの時、伊豆の国市役所の方々がいろいろな活動を行い、被害を減らそうと尽力してくださっていたことを嬉しく思いました。僕は避難するときに近くの橋を通りましたが、狩野川が増水していて、とても怖かったです。避難し終えても狩野川があふれて全てが流されてしまうんじゃないかと不安になりました。これからいつ、どんなことが起こるか分からないので、非常食、避難場所や避難経路の確認をして正しい行動ができるようにしたいです。
- 災害の時にはまず自分の命を第一に考えることが大事なんだと思いました。私の家には祖父母がいるし、近所にもお年寄りがたくさんいます。私たち中学生が中心となって避難の手助けをしていきたいです。



暖冬と言われているが、毎朝、寒い日が続いています。子供たちは寒さにも負けずに登校してきています。頑張れ！左写真は花の会の皆様による生け花です。新しい年を迎えるにふさわしい素敵な作品です。見て、心が和んできます。





# 3学期全力で目標に向けて進みます！



始業式の代表生徒の話を紹介します。(一部抜粋)

★私は週2回手話教室に通っています。そこで出会う障害を持つ方々と接していくうちに、「皆同じなんだ」ということに気づかされました。昨年、車椅子バスケットの神保先生の講演会で話された「やってみることが大切」という言葉は自分が今求めている言葉でした。私は今まで挑戦することに對して「恥ずかしい」という思いから実行できませんでしたが、4月からは受験生と呼ばれる3年生になります。私は1年生の手下になれるように努力したいと思います。(2年長谷川結さん)

★僕は「部活動の田方地区大会、伊豆ブロック大会で優勝して県大会に行くこと」「高校進学を少しずつ意識して安定した学力を身につけること」と2つの目標を立てました。冬休みに「目標がその日その日を支配する」という言葉を聞きました。苦手なこと、大変なことから逃げずに強い意志を持って、正面から立ち向かっていくことを意識して、3学期も毎日を充実させていきたいと思っています。(1年長澤大河さん)

★僕には夢があります。将来、酪農関係の仕事に就くことです。もともと動物が好きで、酪農をテーマにした漫画をきっかけに、ますますその世界に興味を持ちました。大人になったら北海道で自分の牧場を持ち、牛や豚、鶏などを育てたいと思っています。酪農という仕事は生き物が相手なので休みもなく、きれいな言葉や環境の中働きます。決して高額な収入を得られる仕事ではありません。しかし、日々コツコツと積み重ねていかなければならない仕事なので、僕はそこをやりがいがあると感じています。高校もその夢に近づきたいです。もう一つ意識していきたいことがあり、卒業までの残り少ない期間、自分のことだけでなく、周りの人達のことを考えた生活をしていきたいです。(3年本谷善吾さん)

## 授業やテスト等順調に進んでいます



3学期の授業が始まりました。子供たちはこれまでと同じように、真面目に授業に臨んでいます。将来の夢や希望を実現していくためには、学力を身に付けておく必要があります。授業を通して知識や技能を習得していくことはもちろんですが、「これから求められる人材」となる基盤としての思考力や判断力、表現力を高めていくこともさらに大切なこととなります。それらは授業における仲間との関わり合いの中で培われていくものことです。日々努力していくことを願います。



県学力診断調査に臨む1、2年生の様子です。今後の進路選択をどうしていくか、資料として活用していきます。

- ＜テスト受験の4カ条＞
- 1) 見ない・見せない・見られない
  - 2) 質問・筆記用具を落とす・具合が悪いときは、挙手をしてテスト監督を呼ぶ。
  - 3) 机の中は、空にしておく。
  - 4) 机の上は、筆記用具・消しゴム(三角定規・コンパス)のみとする。



保護者の方からのご意見・感想 ( )年( )組( ) (生徒名 )

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。